

立教大学社会学部メディア社会学科・木村ゼミ
特別セミナー
RPA (Robotic Process Automation) の活用

木村ゼミでは、日本 RPA 協会「行政アカデミア分科会」のご厚意により、ゼミ活動の一環として、2017年10月16日(月)、<RPA (Robotic Process Automation) の活用>に関する特別セミナーを実施することとなりました。3年生、4年生とも参加可能です。積極的に参加してください。

プログラム

1. RPA について (講師：科学技術・学術政策研究所上席フェロー 奥和田久美氏)
2. RPA のデモンストレーションと演習 (講師：日本 RPA 協会 笠井直人氏)

セミナーの背景と趣旨

RPA (Robotic Process Automation) は、これまで人間のみが対応可能と想定されていた作業、もしくはより高度な作業を人間に代わって実施できるルールエンジンや AI、機械学習等を含む認知技術を活用した業務を代行・代替する取り組みです。人間の補完として業務を遂行できることから、仮想的労働者 (Digital Labor) として、2025年までに全世界で1億人以上の知的労働者、もしくは1/3の仕事が RPA に置き換わるという推計もあります。

近年、RPA はビジネスや研究の現場で急速に活用されはじめており、かつて工場にロボットが導入されたような変化がオフィス業務にも起きつつあります。実際、RPA を導入することで作業時間、作業人員、作業ミス、教育コストの大幅な削減を実現した企業や RPA の活用を前提としてスタートするベンチャー企業も出てきています。

本セミナーでは、社会にもたらす変化や将来像を含めて RPA についての解説をいただき、実際にパソコンを使ったデモ実習により、RPA がどのようなものかを実感してもらいたいと思います。